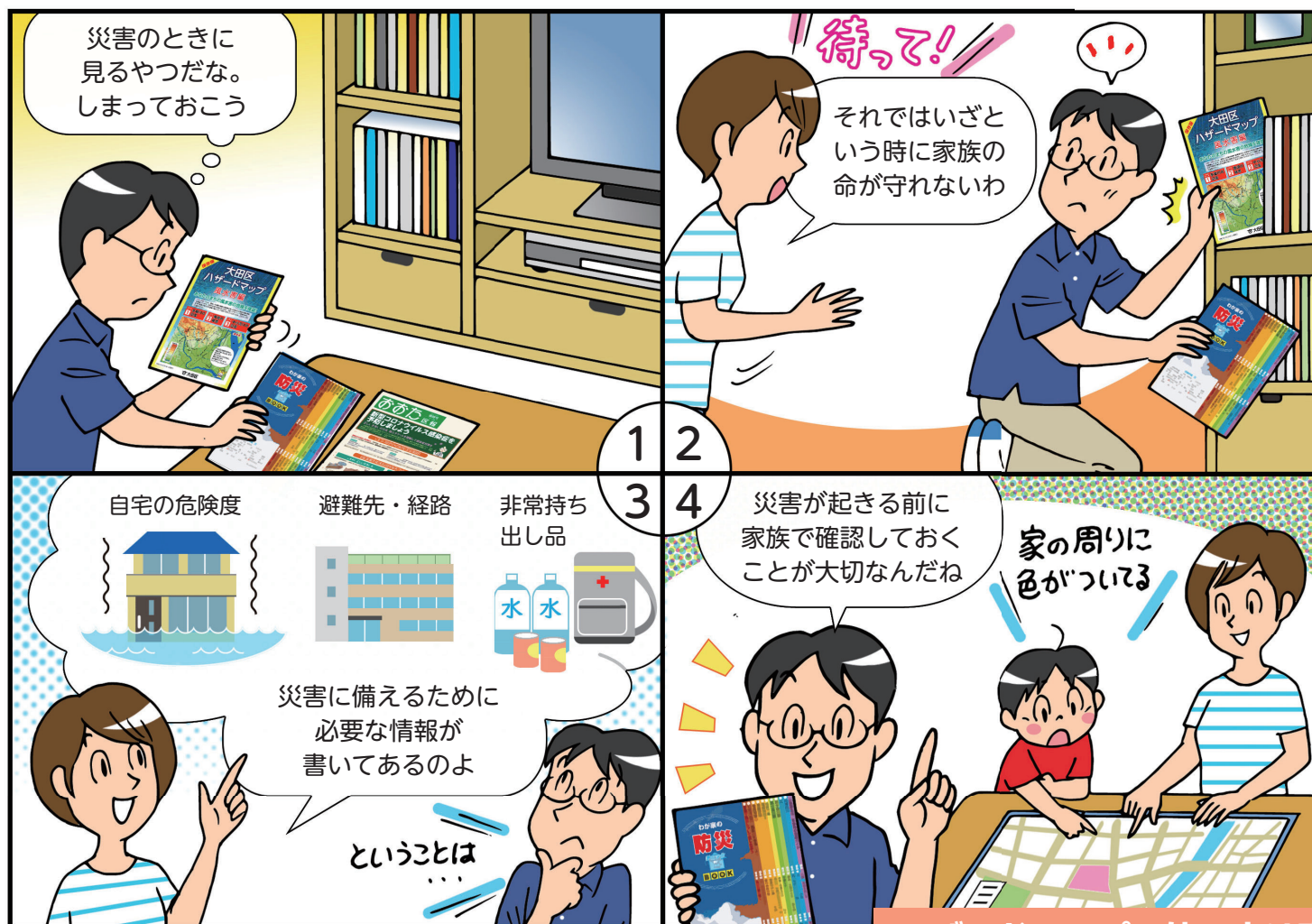
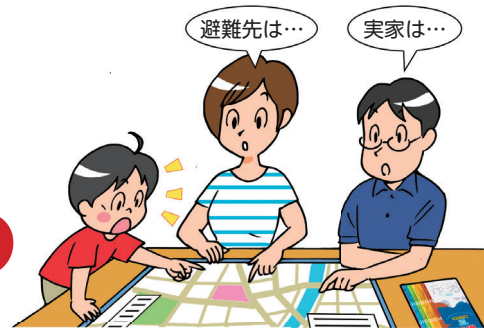




自分や家族の命を守るために…

災害を知る 防災を考える



ハザードマップの使い方は裏面へ

やってみよう！ 災害対策理解度セルフチェック

「知っているつもり」や「できているつもり」になっていないか、確認してみましょう。

① 自宅の災害リスクを知っている？

A もちろん知っている B 調べたことがない

自宅の危険度を知ることが災害への備えの第一歩です。危険度によって必要な対策は変わってきます。

チェック → ハザードマップ (風水害編・震災編)

② 地震が起きたら、最初にすることは？

A 身の安全を確保 B 火の元確認

いざというときに落ち着いて行動するには、正しい知識を身につけておくことが大切です。

チェック → わが家の防災チェックBOOK No.5

③ 家具類の転倒防止対策はできている？

A できている B そのうちするつもりだ

阪神・淡路大震災では、家具などの下敷きになって亡くなった方が多くいました。教訓をもとに対策しましょう。

チェック → わが家の防災チェックBOOK No.3

④ 「避難場所」と「避難所」の違いは？

A 目的が違う B 特に違いはない

避難場所と避難所は違います。その違いを理解して適切な避難行動などに近づけましょう。

チェック → ハザードマップ (震災編)
わが家の防災チェックBOOK No.7

⑤ 家庭内に備蓄はできている？

A 3日分の備蓄がある B 避難所にあるだろう

避難所は食料が限られています。自宅が安全な場合は、自宅で生活が続けられるように準備しましょう。

チェック → わが家の防災チェックBOOK No.4

Bと回答した項目は、一緒に配布しているハザードマップやわが家の防災チェックBOOKを確認してください。もちろん、Aと回答した項目も復習してくださいね。備えあれば憂いなしです。

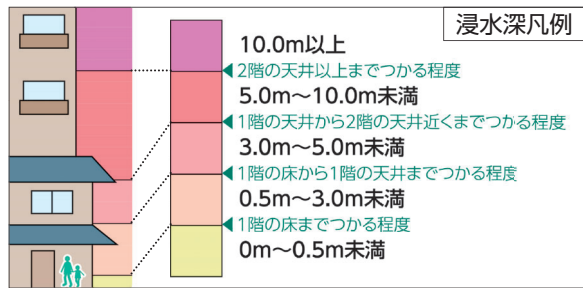


ハザードマップを見てみよう

ハザードマップの疑問に防災危機管理課職員がお答えします。

ハザードマップ(風水害編)抜粋

1-1 多摩川の氾濫
多摩川の全流域で48時間に588mmの降雨があった場合

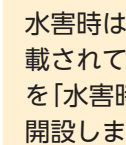


家の周りに色がついてる!

色が塗られているところは、多摩川の氾濫によって浸水が発生するおそれがあるんだ。色の濃さで浸水の深さが分かるよ。



薄いピンク色だから、最大で3m浸水する想定なのね。避難先はどこになるの?



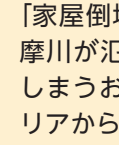
水害時は、ハザードマップに記載されている区立小中学校などを「水害時緊急避難場所」として開設します。



自宅から避難場所までの安全な経路も確認できるわね。



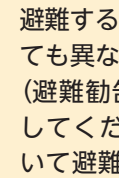
実家は [] に囲まれたエリアにあるけど、ここはどんな危険があるの?



「家屋倒壊等氾濫想定区域」といって、多摩川が氾濫すると家屋が倒壊・流失してしまうおそれがあるエリアです。このエリアからの立ち退き避難が必要です。



いつ避難すればいいの?



避難するタイミングは生活環境などによっても異なりますが、遅くとも警戒レベル4(避難勧告)が発令されたら速やかに避難してください。いざというときに落ち着いて避難できるように「マイ・タイムライン」を作成しておきましょう。



なるほど…次は両親と一緒に「マイ・タイムライン」を作ってみよう



ポイント 避難とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる方は、避難する必要はありません。避難場所は多くの方が避難するため、密接・密集状態となります。感染症対策のためにも、親戚や友人の家など水害時緊急避難場所以外へ避難することも考えましょう。

マイ・タイムラインを作ってみよう

マイ・タイムラインの例をもとに防災危機管理課職員が作成のポイントをお伝えします。

マイ・タイムラインとは、台風接近時に「いつ」「何をするのか」を時系列に整理した「個人の避難計画」です。災害リスクや生活環境によって避難行動が異なるため、まずはハザードマップ(風水害編)のフローチャートを確認しましょう。



時間軸	行政が発信する情報	まもるさん	まもるさんの母
3日前		● 台風の進路などをテレビやHPで調べる	● 1週間分の薬を病院に取りに行く
2日前	大雨注意報	● 車を高台に移動する ● 避難するときに持っていくものを準備する	● 大事なものを2階に移動させる
1日前	大雨警報	● 携帯電話を充電する	● 家の周りに風で飛ばされるものがないか確認 ● 娘に電話し、避難することを伝える
半日前	氾濫注意情報	● 多摩川の上流の雨量を調べる ● 多摩川の水位を調べる	● 避難しやすい服装に着替える
5時間前	氾濫警戒情報	● 避難しやすい服装に着替える	● ブレーカーを落とす
3時間前	氾濫危険情報	● 避難を開始する	● 避難を開始する
0時間	氾濫発生	● 避難完了	● 避難完了

ポイント 持ち運びできる荷物は限られるので、事前に荷物を整理しておきましょう。感染症対策のため、マスクを忘れずに

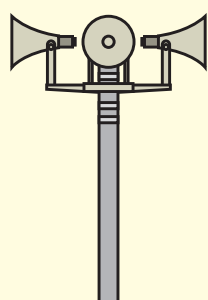
ポイント 長靴は水が入ってくると足をとられて危険です。歩きやすい靴にしましょう

ポイント 避難先が遠い場合は、公共交通機関の計画運休などの情報にも注意が必要です

ポイント 大田区から避難勧告などが発令されていなくても、自分で判断して早めの避難をしましょう

避難勧告などをサイレンでお知らせします

サイレン放送パターン ※2回繰り返し



大規模災害発生時において、避難勧告・避難指示が発令された場合、サイレンを鳴らしてお知らせします。

サイレンが聞こえたら、テレビや区HPから、避難対象地域や避難所の開設状況などの詳しい情報を入手し、落ち着いて避難行動をとってください。防災行政無線電話応答サービスでも、内容をご確認いただけます。

☎0180-993-993
(通話料は有料)

お知らせ

水害時緊急避難場所としての開設条件などを明記した新しい標識を各学校などに設置します。

